

事業名

すこやかな都祁の子を育てる「都祁の子プラン」

目 標

都祁中学校区の児童・生徒のすこやかな成長を願い、知・徳・体の調和のとれた発達を促す取り組みを進める。

1. 取組の視点

校区の人々の学校に対する期待や関心は極めて高く、地域と共に発展してきました。しかし、都祁地域においても少子化や情報化などの社会の変化から受ける影響も大きいです。また、4小学校からほとんどの児童が都祁中学校へ進学するため9年間を通してどんな子どもに育てていくのか、さらに子どもの現状はどうかなど、都祁地区、保・小・中教育交流会を持ち共通認識を図っています。その中で行動の低年齢化・コミュニケーション能力の低下・運動能力の低下・基本的生活習慣の乱れなどが浮き彫りになってきました。そこで、たくましく生き抜くために必要な力を身につけ、様々な体験や交流を通して、強い体と豊かな心を育み、生き生きと活動する都祁の子どもたちを育てていきます。

2. 取組の概要

都祁中学校区の児童・生徒のすこやかな成長を願い、知・徳・体の調和のとれた発達を促す取組



みを進めてきました。①読書活動を推進するための図書を購入し、読書活動・学校図書館の充実を図ります。小学校では、地域の方に来校をお願いして読み聞かせ学習を実施しました。②地域の学校にふさわしい環境美化活動の推進。そのために保護者やボランティアの方々をお願いをして、生徒・保護者・ボランティアの方々で学校内外の草

刈り作業を実施しました。③体力向上に向けての取組を実施。夏休みに講師招聘をして4小学校で地域の方々も参加して頂いて水泳教室に取り組みました。部活動では奈良市・奈良県の大会や近畿大会、文化部では吹奏楽部（県のコンクール）美術部（展示発表会等）、会場までが大変遠距離で、交通手段が少ない地域に居住する生徒の借り上げ、バス代として充当しました。④見守り活動の推進。地域のボランティアの方々に協力をお願いして児童・生徒の登下校時における子ども安全見守り活動を実施していただきました。



⑤地域との交流を実施。地域の方々といろいろな機会における地域交流を実施しました。

3. 成果と課題

今年度事業のテーマを「すこやかな都祁の子を育てる『都祁の子プラン』」を掲げ、都祁中学校区の児童・生徒の健やかな成長を願い、知・徳・体の調和のとれた発達を促す取組を進めるという目標を設定しました。具体的に取り組んだ内容は、図書の充実・環境美化・体力向上・見守り活動・地域交流という5つです。成果としては、地域協議会全体としては、地域の方々の協力を得ながらほぼ達成できたと思います。①小・中を通した児童・生徒の現状を把握すること。②学校図書館の充実を目指し、蔵書の充実を図る。③更なる体力の向上を願い、取組を継続していく④地域交流を更に継続していくことが、今後の課題です。

事業名

奈良県一を目指せ！都祁中

目標

保護者・地域の方々との交流を図りながら、地域を愛する心を育てるとともに諸活動を通じて豊かな心とたくましい体力の向上を図り、意欲的に活動する中で生きていく力を培う。

1. 取組の視点

都祁中学校区は、地域上げて中学校の諸行事や取組に協力や理解を得ることができます。その成果もあって、生徒の健全育成や諸活動の取組において大きな成果を残しています。年々生徒数も減少傾向にあるが、「奈良県一の学校を目指して」を地域・家庭・学校の合い言葉として諸活動に取り組みました。重点的な活動としては、地域まで広がるあいさつ運動、清掃活動の徹底、「地域から学ぶ」をキーワードにした地域交流会を展開しました。また、諸活動を通じて豊かな心と体力の向上を図り、意欲的に活動する中で生きていく力を培います。

2. 取組の概要

「奈良県一を目指せ！都祁中生」を事業テーマに掲げ、保護者や地域の方々との交流を図りながら、地域を愛する心を育てるとともに、諸活動を通じて豊かな心とたくましい体力の向上を図り、意欲的に活動する中で生き抜く力を培うという目標を設定しました。



まず、7月（暑中見舞いの絵はがき）と12月（版画カレンダー）の2回、自分たちで制作した作品をもって高齢者宅訪問を実施した。都祁の文化や遊び、歴史などいろんなことを高齢者の方々から学ぶことができました。絵はがきやカレンダーのお礼のお手紙も頂き、学校だより「架け橋」で紹介をしました。総合学習では、地域のグラウンドゴルフクラブの方々に来ていただきゲーム

を通して交流を深めることができました。11月に実施をした地域交流会では、社会福祉センターの高齢者の方々や保育園児を招待しました。今まで総合学習で取り組んできたことを発表したり、ゲームや遊びを通して交流を深めることができました。学校評議員の方々にも地域交流会の様子を参観していただき、お褒めの言葉もいただきました。



また、部活動を行う環境を整備し、全員部活動に参加させ、自己記録の向上に挑戦し、意欲的な生活態度の向上や体力の向上を図り、たくましい心と体を育成するという目標に近づくことができました。

3. 成果と課題

高齢者宅訪問は、世代間交流で高齢者の方々から昔の話や遊びなどを教えてもらったりして都祁の文化や歴史を学ぶことが多くありました。学校だよりでお礼のお手紙を紹介したことを生徒たちはすごく喜んでいました。また、総合学習・課題別学習（保育・福祉・グラウンドゴルフ・芸術）の取組を通して地域の方々や保育園児との交流を深めることで多くの人たちとコミュニケーションを取ることができました。生徒たちは、この取組を通して人を愛する心や地域を愛する心を学びました。今後もこの取組を継続して地域の方々にも協力をお願いし、取り組んでいきます。

事業名

ふれあい、輝け並松っ子

目標

並松小学校の子どもたちの健やかな成長を願い、
知・徳・体のさらなる向上に取り組む

1. 取組の視点

平成22年度、本事業における取組の評価は良好であったことから、コーディネーターとの意見交換で、計画や実施における細かな調整を実施して、本年度も継続した内容で取り組むこととなりました。学校に協力いただける地域の方々とともに、都祁の地で子どもたちが学び育つ機会を支える活動として本事業に取り組みました。

2. 取組の概要

○地域との交流（学習支援活動を中心として）

地域の伝統食として今も地域の神社にお供えをされている笹と茅で包んだちまきを、本年度も地域のボランティアの方に指導していただき6年生が学習しました。昨年度の話し合いで、子どもたちの保護者世代にも伝えようということで、授業参観日に活動を実施しました。できあがった後、蒸された茅や笹の香りが広がる部屋の中で、素朴な味わいのちまきを試食しました。



ちぎり絵や絵手紙の指導では、事前の材料の準備や手順の確認などの話し合いを指導者間で実施している

るので、限られた時間の中で、子どもたちは、自分の作品に満足感を得ることができました。外国語活動が高学年で実施となる中、他の学年の児童に気軽に英語に触れる機会を作ることができたらということで、本年度も英語による絵本の読



み聞かせを継続してもらっています。簡単な挨拶なども繰り返し指導してもらっているおかげで、外国語活動へのつながりもスムーズです。他にもさまざまな教科で地域の支援を受けました。



○環境整備活動

職員や子どもたちによる作業だけでは賄いきれない夏期の除草作業などに保護者や地域

の方々のご協力を得ています。草刈り機なども持参いただき、積極的に作業をしていただいたおかげで、子どもたちの学習環境が見違えるようになりました。



○見守り活動

「並松地区子ども見守り会」として、月2回の定例登校指導や普段の自主的な見守り活動を実施していただいています。積極的に声がけや挨拶にも取り組んでいただいています。子どもたちも、知っている人ばかりでなく、道で出会う人には、進んで挨拶を続けていることが地域の方々からも評価されています。

3. 成果と課題

地域の方々と学んだ成果は多くあります。学校自己評価のために実施した児童・保護者のアンケートにおいてもよい評価が得られています。学んだ感想や地域の方々からのお礼の手紙に、人どうしのつながりの大切さを再認識しました。

今後の課題としては、情報発信の取り組み、子どもたちに継続的にかかわっていただける人材の確保、事業継続のための予算の確保、学校や地域の担当者が代わっても引き続き支援が得られるような組織の確立と更なる強化が考えられます。

事業名

瞳きらきら 心うるおう都祁の子の育成

目標

地域と連携し、さまざまな体験や人と人とのつながりを通して、主体的に考え・表現できる児童を育成する。

1. 取組の視点

本校の全校児童数は 118 名と小規模校ですが、縦割り班を生かした全校ぐるみの取組を多く実施し、子どもたちのつながりを強固にしています。また、地域の方の教育への関心も高く、様々な活動にも協力的です。

本校では、「つげのこ」をキーワードに

「つ」・・・つきゅうする子、

「げ」・・・はげましあう子、

「の」・・・のびのびそだつ子、

「こ」・・・こころやさしい子

の育成をめざして取り組んでいます。何事にも興味・関心を示す子どもたちですが、自分の考えや意見を発表するとなると、自信が持てずに躊躇してしまうことがあります。本年度の研究主題を柱に、お話の会や地域の方とのふれあいの場を学年に応じて設定し、主体的に考え、表現する機会を数多く取り入れていく必要があると考えました。

今までの取組をさらに充実させ、人とのかかわりや都祁地区ならではの豊富な体験活動を実施することによって、子どもの心を耕し、地域を愛する心や豊かな情操を養いたいと思います。

2. 取組の概要

【栽培体験学習】自然や地域とのかかわりを深めるために、各学年で栽培体験学習を実施しています。5年生の米作り体験をはじめ、4年生の土づくり・水菜の栽培、3年生のケナフの栽培・活用、2年生では白菜の植え付け、1年生の芋掘り等、地域の農業について体験することができました。

また、観察や結果を絵や作文に表したり、お礼の手紙を書いて手渡しました。自分の思いや考えをまとめたり文章を書くことを通して、表現力を培うことができました。

【学校環境整美作業】100名近い地域の老人の方々に協力していただき、児童、保護者、地域の老人の方が一緒になり、学校環境整美作業を進めることができました。



【お話の会】毎週火曜日、業前の時間に地域のボランティアの方々に来ていただいて、(低)(中)

(高)のローテーションで年間 26 回、語り聞かせや読み聞かせをしていただきました。集中してしっかりと話を聞く姿勢が育ってきました。



【昔の遊びを教えてください会】子どもたちのおじいさん・おばあさん、地域のお年寄りの方をゲストティーチャーとして、色々な昔の遊びについて教えていただきました。

お手玉、こま回し、あやとり、おはじき、かるた、まりつきなど、地域のお年寄りの方との交流を深め、楽しい一時を過ごすことができました。



【新しい感動と出会いを求めて】保育園児、保護者、地域の方の参加も加わり「マリンバの向こうに世界が見える」を演題に、教育講演会を開催しました。本物との出会いの中で、豊かな心が育まれました。

また、「素敵な音楽と出会おう会」や「好きな本を見つけよう会」など、多くのことと出会う中で、新しい自分との出会いがあったようです。

3. 成果と課題

『瞳きらきら、心うるおう都祁の子の育成』をテーマに、保護者や地域の方々との連携をもとに、様々な活動に取り組んできました。つげの子見守り活動やお話の会、学校環境整美作業、栽培体験学習等、地域と学校とが連携し、計画的に事業を進めることができました。体験学習や地域の方との交流を通して、地域を愛する心を育み、主体的に考え・表現する児童の育成に向けて、意義ある活動ができました。次年度は、学校行事や教科学習との関連を図りながら、さらに、活動を広げていきたいと思っています。



事業名

地域で決める学校予算事業「吐山太鼓踊り」

目標

郷土や学校を愛する心を育てる

1. 取組の視点

吐山地区には、江戸時代から雨乞いの太鼓踊りが伝わっています。本校では、以前から高学年が地域の伝統文化学習として総合的な学習の時間に取り組んでいました。今年度は、地域で決める学校予算で太鼓の運搬費を予算化し、奈良市音楽発表会で演奏することができました。太鼓の打ち方を映像に記録して確かめたり、口承されていた謡いを採譜したりして、太鼓踊り保存会の方々とともに、これまで続けてきた太鼓踊りを再評価、再発信しました。

2. 取組の概要

4・5・6年生が、太鼓踊りの中の「松虫踊り」に取り組みました。4・5年生がコーラス、6年



生が太鼓踊りを担当しました。太鼓は、近くの集会所に保管されていますので、集会所を借りて練習しました。その後、学校の体育館に運んでもらって仕上げをしました。回を重ねるごとに、子



もたちの声が出るようになり、踊りの切れもよくなりました。合わせて、放課後子ども教室でも太鼓踊りクラブ（下部神社で奉納することを目標とした有志の児童で構成。）を結成して腕を磨きました。

市音楽発表会当日、保存会や保護者の方が多数なら100年会館に足を運んで参観し、「感動した。」「身の引き締まる思いがした。」とってくださいました。発表の機会を提供していただいた市音楽部会に深く感謝しています。

3. 成果と課題

地域の教育力を生かす取組は、年を重ねるごとに発展し、地域の方々と子どもたちが交流する場面が増え、つながりも深まっています。

特に、今年は吐山太鼓踊りの発表がきっかけとなって、地域でも太鼓踊りの資料が整理され、新聞でも取り上げられるなど、貴重な財産として見直されています。

また、太鼓だけでなく、「日本の音楽に親しもう」と箏の演奏会を開いたところ、吐山に伝わる民話「岩ぬけの鐘」を箏とともに朗読していただき、改めて地域の宝に気づかされました。

今後も、地域の豊かな自然や文化を生かし、地域を愛する心を育てたいと思います。

事業名

学び・ふれあい六郷の里

目標

豊かな自然を生かした活動や地域の人との交流を通してふるさとを愛する豊かな心と強い体を育み、基礎学力の向上を図る教育を充実させる。

1. 取組の視点

本校の子どもたちは、小さい時から少人数で育ち、明るく・素直・温和で言われたことははっきりできますが、依存的なところが多く、自己を表現することは苦手だという面があります。また、豊かな自然の中にいながら、自然の中で遊んだりすることが少なく、地域の産業や自然環境に対する関心もうすいので、体験活動を通して心の教育を充実したいと考えました。



そのために、地域の人の協力を得ながら、豊かな心を育むための活動を多く取り入れることにより本事業の活動を進めてきました。

2. 取組の概要

(1) 米作り教室

自然を生かした活動として米作り教室を実施しています。学校近くの田んぼを借りて全校生が田植えから稲刈り、脱穀まで行いました。とれた米と育てたサツマイモでイモごはんを、地域の方の協力を得て作り、おいしく頂きました。この活動を通して生産する苦労や喜び、勤労の大切さを学びました。

(2) ふれあい音楽交流会

豊かな心を育むため音楽交流会を実施してきました。講師の先生から合唱・合奏の指導を受けました。そして六小まつりで保護者や地域の方に聞いてもらいました。たくさんの人の前で、歌う楽しさや友達と心を合わせて演奏するすばらし



さを実感しました。

(3) 地域にある施設の訪問・見学

地域にある高齢者福祉施設を訪問して高齢者の方たちと一緒に遊んだり、話を聞いたりしました。この交流を通じて人を思いやる優しい心やまわりの人に感謝することなどを学びました。

また、近くのスーパーに行き、見学や聞き取りをして、仕事の厳しさや苦労、たくさんの人に支えられていることなどを学びました。

3. 成果と課題

子どもたちは、自然体験を通して自然の良さに気づき、生き生きとした活動ができました。今後は子どもたち自身が、地域の産業や自然環境に対して課題意識を持って取り組んでいけるようにしていきたいと考えています。そのためにも、引き続き、体験活動や地域学習に取り組む必要があると思います。